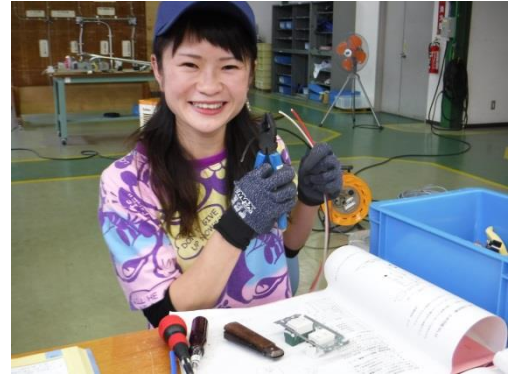


**学生時代から入社したかった
会社に就職できました。
この6ヶ月間は楽しかったし、
とても充実していました。**



平成30年6月に電気・通信施工技術科を修了し、8月から昇降機などのビル設備を管理する会社に勤務されるI・M様（20代・女性）に、職業訓練の受講や就職活動についてお話を伺いました。

◇前職は、エレベータの保守点検でしたね？

— はい。高等専門学校を卒業後、エレベータの保守点検の仕事をしていました。

◇職業訓練を受講しようと思われたのは？

— 仕事をする中で、専門的な知識や技術が不足していると感じ、スキルアップをしたいと思っていました。ハローワークで、ポリテクセンターの受講者募集のパンフレット冊子を見て、いいなと思いました。

◇事務や介護など、他にもいろいろなコースがあったのでは？

— 事務をしたいとは思いません。事務所内で座って仕事することが向いていないからです。小さいときから、体を動かすのが好きでした。

◇電気・通信施工技術科は男性が多い科ですが。

— 男性が多くても、抵抗はありません。前職も男性が多い職場でしたし、訓練の内容からしても、男性が多いのは仕方がないと思っていました。

◇女性にとって、ものづくりの仕事は？

— ひとつひとつ作業をすることで、着実に技術が身に付く仕事だと思います。私は機械のメンテナンスをしていましたが、作業内容がしんどいとか、きついということはありませんでした。職場の男性社員も親切でした。

◇受講していかがでしたか？

— 受講してよかったです。同じ年頃の人が多くて、クラスの雰囲気もよく、楽しかったです。訓練内容では、シーケンスがためになりました。仕事をしているときはわからなくて、もっと知識を身に付けなければならないと思っていました。電気・通信施工技術科を受講して、高等専門学校で習ったことを思い出すことができました。就職も決まり、職業訓練を受講する目的を果たせました。

◇就職先は？

- － 学生時代から行きたかった会社です。昇降機などのビル設備管理をしている会社で、シェア No. 1 の大きな会社です。曲線のエスカレーターを見たときに、普通のエスカレーターは直線なので、すごいと思いました。学生ときは応募すらできなかったし、面接では「男性が欲しいんだけどな。」と何度も言われたので、不採用だろうなと落ち込みました。だから、内定をいただいたときは、本当にうれしかったです。

◇仕事内容は？

- － エレベータの据付工事管理です。前職は現場での作業で、私の性に合っていて楽しかったのですが、次は管理なので、大丈夫だろうかという不安はありますが、エレベータ関係の仕事だし、学生時代から行きたいと思っていた会社なので、頑張ります。

◇なぜ、エレベータ？

- － 電気関係の機械で、私にとって一番身近な機械だったからです。

◇就職活動は？

- － ポリテクセンターの就職支援アドバイザー（※）の方に、履歴書・職務経歴書の作成の相談や面接練習をしていただきました。自分ではできたと思って履歴書を提出したのですが、「ここは、こうした方がいいよ。」といろいろ指摘されました。アドバイスをいただいたことは、自分では気づかなかったことで、確かにそうだなと思いました。支援していただいて、助かりました。一人で就職活動をしていたら、希望する会社に採用されなかつたらと思うと思います。

※キャリアコンサルタントの資格を有する職員で、受講者の就職相談を担当。

◇就職後の目標は？

- － 教えていただくところから始まりますが、まずは、教えていただいたことを覚えて、一人でできるようになりたいです。そして、将来は管理職になりたいと思っています。結婚して出産もしたいので、これから婚活も頑張ります。

◇就職活動中の方や職業訓練を受講されている方にメッセージをお願いします。

- － 「頑張ってください」のひと言に尽きます。私は、職業訓練を受講して楽しかったし、勉強できて、この6ヶ月間はとても充実していました。ポリテクセンターで学びたいと思ったら、受講したらよいと思います。

＝担当就職支援アドバイザーから＝

小柄で可愛らしい雰囲気の中に何か譲らない芯の強さを持たれているというのが、I

さんの第一印象でした。その芯の強さがあったからこそ、前職で男性に負けにくい仕事を頑張ってきたことは、応募書類作成時に十分伝わってきました。今回の就職先の応募についても、学生時代の話聞く中で応募したくてもできなかった悔しさも感じていたので、応募前の大きな決断については想定内の結果であり、正に彼女の持つ芯の強さを感じる決断でした。

面接の翌日報告に来られたのですが、面接では性別のことを言われたと、悔しそうに話す彼女の気持ちが十分に伝わってきました。これからどう支援するのが彼女らしく進めるかと考えながら、彼女の話に耳を傾けました。それだけに、内定の知らせはとても嬉しい報告でした。

(取材後記)

その日の訓練を終えたあと、来月の第二種電気工事士技能試験に向けた実技の補習中にも関わらず、快くインタビューに応じてくださったIさん。終始にこやかに語られましたが、将来の目標をたずねると、「管理職になりたい。」と即座に力強く回答されました。その語りを聴いていると、仕事もプライベートもご自身の希望を叶え、素敵な笑顔で毎日を過ごされているIさんの姿が容易に想像できました。

<2018年6月>